おかげさまで
創立30周年

Safety プロダクトニュース

新商品

高速印字で"待つイライラ"解消。

Canon ケーブルIDプリンター Mk2500 Mk1500 登場!!

現場の多様な課題にジャストフィット。幅広い対応力も頼もしい。

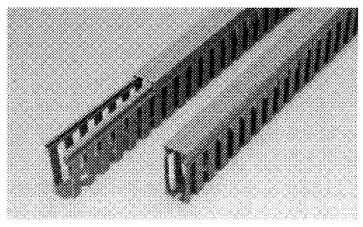
キャノンケーブルIDプリンター「Mk2500」は従来機種の毎秒25mmから40mmに、「Mk1500」は毎秒12.5mmから25mmに印字速度がそれぞれ飛躍的に向上。なかでも「Mk2500」はポータブル型ケーブルIDプリンターにおいてクラス最高水準の印字スピードを実現。

さらに、「Mk2500」は、記名版へ印字する際に補正単位0.01%、最小0.085mm単位で補正できるので、連続・長尺印字の位置ズレを防ぎ、高精度に印字することができます。また、市販のPVC丸チューブや熱収縮チューブ、ラベル、ラップアラウンドテープ、記名版、4mmIDストリップなど、豊富なマテリアルにも対応。さまざまな現場での作業効率を高める多機能満載のケーブルIDプリンターとしてますます幅広いニーズに応えていきます。

CABLE ID PRINTER Mk2500　CABLE ID PRINTER Mk1500

使い易い新機能を搭載。

HQDカッチングダクト

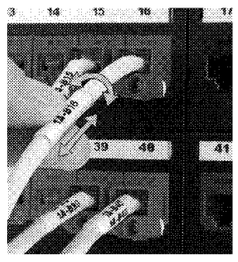


星和電機の使いやすい新機能を搭載したハイクオリティタイプの『HQD カッチングダクトは、盤内配線、屋内配線を問わず、あらゆる配線作業の現場でその使い勝手の良さを実現できます。

特長
- 通線孔周囲を面取しているので、ケーブルの引き出し時に外皮を傷つけにくい。
- 上部が繋がっているので強度があり、持ち運び時にたわみにくく、カバーの取付けが容易。
- 通線孔下が底部まで開いているので、T字分岐やケーブルの取り出しが容易。
- 底部に折り取り線があり、長さ方向への折り取りも可能。

業界初の便利な回転ラベル。

PANDUITの業界初の革新的な回転ラベルは様々な配線作業の現場で、その使い勝手の良さと便利さで作業効率が一段とアップします。



■業界初の革新性
ラベルの回転、スライドが可能。簡単にラベル表記を確認できます。
■後から取付可能
チューブタイプと異なり、両端加工済みのケーブルにも使用できます。
■簡単取付
特別な作業を必要とせず、簡単にラベルの取付ができます。
■多彩なラインアップ
ケーブル径3mmから24mmまで、7種のラベルを用意しています。
■熱転写プリンタ専用
Panduit 熱転写プリンタと専用ラベルソフトを組み合わせ、簡単印字。

発行 PLラベル総合カタログ改訂版

株式会社 セフティデンキ
本 社：東京都中野区松が丘2-33-17　〒165-0024
電話 03 (3950) 3134　FAX 03 (3950) 0081

http://www.safety.co.jp　ISO14001 全事業所認証取得

■国内販売ネットワーク■　□札幌サテライトオフィス 電話 (011) 223-6100
■株式会社 北関東セフティデンキ 電話 (0492) 36-0761　■株式会社 南関東セフティデンキ 電話 (045) 474-5661
■株式会社 信　越セフティデンキ 電話 (0263) 82-8780　■株式会社 西日本セフティデンキ 電話 (052) 772-5000

震災がれきの広域処理スタート

相次ぐインフラ再開や逆境下でも果敢に事業拡大に挑む企業マインド―。これらに支えられ被災地の経済復興が着実に進む半面、復興の足かせとして、いまだ被災地を悩ませるのが、震災で発生した大量のがれきの処理の問題だ。

都が受け入れ

政府の推計によると、岩手、宮城、福島の3県で発生したがれきは2247万トンと推計される。地元での処理は到底不可能。全国の自治体の支援が不可欠だ。広域処理の先陣を切って、11月から岩手県宮古市のがれき受け入れに乗り出したのが東京都。宮古市に続き12月からは宮城県女川町からも受け入れ、焼却処理する。だが、こうした広域処理の取り組みは、他の自治体に広がらない。

背景にあるのは震災がれきに対する国の情報発信不足。埼玉県の上田清司知事が「宮古市のがれきは（受け入れ可能な）一般廃棄物なのに（原発事故で）放射性物質を含んだがれきと混同されている」と指摘するように、安全性に対する情報発信が十分でないことが地域住民の不安をかき立てている。都はホームページで、福島県の災害廃棄物は「国が処理する方針で、受け入れない」と説明。さらに、放射能汚染に対する都民の不安を払拭するため、宮古市からの受け入れ決定後は、都環境整備公社の職員が現地に常駐。技術指導や管理にあたる。

こうした2重、3重の管理体制にもかかわらず、広がらない広域処理。環境省では受け入れ自治体の拡大を目指し、11月中旬には、都が受け入れている宮古市のがれき処理現場を全国の自治体担当者に公開。今後の対応に期待を寄せる。

水産業の復旧

「がれきの処理は一向に進んでおらず、また地盤沈下した港湾施設は水没した状態が続いている。今後は学校や病院、福祉施設を再建する必要があるが、建設地の選定が難しく、めどが立っていない」―。

こう指摘するのは、地域経済に詳しい日本政策投資銀行参事役の藻谷浩介氏。とりわけ、産業復興の中でも遅れているのが水産業の復旧だ。200社もの水産加工業者が被災した宮城県石巻市にとって、石巻漁港で水揚げした新鮮な魚介類を加工し全国に出荷する水産加工業は、市の基幹産業である。しかし、水産加工団地は市の中心部を流れる旧北上川河口に広がるため、団地内には津波の直撃を受けたままの建物が依然残り、地震で地盤沈下した道路は修復が進んでいない箇所も多い。

水産加工団地の復旧の遅れは、地盤整備の方針を示す行政の復興計画が定まらないことが大きな要因という。ただ、こうした厳しい環境下でも操業再開の動きがわずかながらも現れ始めている。

山田水産（大分県佐伯市）は、サンマやイワシを加工する石巻事業所を9月に再開。「築地銀だこ」で知られるたこ焼きチェーンを運営するホットランド（群馬県桐生市）は、石巻市への本社移転を決定。12年度中には水産加工団地内にタコ加工工場を新設する計画で、現地では期待が広がっている。

本格復興を目的とした第3次補正予算への地元の期待は大きい。石巻商工会議所の浅野亨会頭は「海と（津波がさかのぼってきた）川にやられた石巻だが、やはり海と川を利用した産業再生に取り組まなければならない」と話している。

《企画制作》日刊工業新聞東京支社

石巻市の日和山公園から市内を望む。スピードは遅いかもしれないが確実に一歩ずつ復興が進む

製品の開発加速

部品納期遅延など影響残る

一方、秋田市に拠点を構え、ビッカースやロックウエル硬度計を主力とする完成品メーカー、マツザワ（秋田市）秋田県内では東日本大震災による地震の直接的な被害は軽微にとどまったが、同社では一部の材料や部品の入荷がほぼ1週間にわたり滞った。また、物流の混乱により出荷ができないといった間接的な被害を受けた。

マツザワの硬度計の生産現場も活気づいている

幸いにも顧客企業の被災による売り上げ減少を最小限に抑え、11年3月期はほぼ計画通りの業績を達成。だが震災から8カ月になる現在も、「複数の電子部品が、製造会社の被災により納期が延び延びになったまま」（工藤康夫会長）と、今回の震災が与える影響の大きさと根深さを感じている。

マツザワが手がける硬度計は、国内では同社を含め主力4社が競い、市場では自動計測機能を備えた硬度計が売れ筋で、各社はその開発にしのぎを削る。硬度計は加圧規格や測定方法など認証機関による決めごとが多く、独創的な設計や技術の導入が困難。そのため「各社の製品が画一的になりがちで、他社との差別化が難しい。ポイントは柔軟な製品の開発思想だ」（同）と、独自の発想や工夫を凝らした製品の開発に取り組む。

その柱となるのが、打痕の自動焦点合致や自動読み取り機能など、画像処理ソフトの開発。価格や品質面での妥協も許されず、「これまで積み上げて来た経験や技術をさらに進化させ、測定時間の短縮や加重の広範囲化を目指している」（同）。工藤会長は「加重の制御方法の工夫などにより、従来品の半額程度での販売を目指す。将来は生産ラインでの連続測定が可能な非接触の超音波硬度計の開発なども手がけたい」とし、多様化する市場ニーズに迅速に応える製品開発を推進していく方針だ。

◇　◇

ただ、こうした攻めの経営を打ち出せる地場企業がすべてではないのも現実だ。資金繰りに苦慮したり、将来戦略を打ち出せない企業もある。厳しい現実を物語るのが、岩手、宮城、福島3県の地方銀行、第二地銀8行の2011年4―9月期連結決算だ。当期損益で純損益では仙台銀行が創業以来最大の赤字を計上したのをはじめ、4行が減益を強いられた。

各行が震災の影響を踏まえ取引先の経営状況を見直した結果、貸し出しに占める不良債権の比率が、東北銀行を除き、軒並み上昇したのが要因だ。預金残高は保険金などの支払いで増える一方、貸出金の伸びは小さく、資金需要がまだ本格化していない様子がうかがえる。

Nine9 ナイン・ナイン　NCスポットドリル

高能率化でコストダウン
CNC旋盤、CNC複合旋盤、マシニングセンター等で使用可能。

株式会社ムラキ 機械工具部　http://www.muraki-ltd.co.jp/
本　社　〒103-0027 東京都中央区日本橋3-9-10　☎(03)3273-7511(代) FAX.(03)3281-2243
大阪支店　〒542-0081 大阪市中央区南船場1-16-20　☎(06)6262-5923(代) FAX.(06)6262-5927
名古屋支店　〒461-0001 名古屋市東区泉1-20-4　☎(052)962-3336(代) FAX.(052)962-3339

MJS 財務と経営システムのリーディング・カンパニー 株式会社ミロク情報サービス
●お問合せ：東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル48階 TEL.03-5326-0381
●本社：東京都新宿区四谷4-29-1 TEL.03-5361-6369（代表）●拠点/29支社・4営業所
経営課題にぴったりのソリューションをお探しなら、今すぐ MJS 検索